



地域の方と一緒に

山野保育園園長 中段久美子

五月下旬、山野保育園の東側にある広い園児体験農場で、さつま芋の苗植え体験をさせて頂きました。子ども達は「さつま芋いっぱい採れたら焼き芋にしたい」とわくわくした気持ちで畑に向かいました。畑に着くと、地域の方が丁寧に苗の植え方を説明して下さいました。子ども達も真剣に聞いていました。中でも一番驚いたのは、苗植え用の

の手作り竹の棒。苗を挟んでマルチに差し込むとあっという間に苗植え完了でした。地域の方に手を添えて頂き挑戦することが嬉しくて仕方がない子ども達の様子を見ることができました。地域に触れ、地域の自然に触れ、楽しい経験をする事で、豊かな感性や社会性をもった子どもに育ってくれることを願っています。

これからも、様々な機会の中で地域の方との交流を楽しみに、そして大切にしていきたいと思えます。



「楽しく、安心して暮らせる山野」をめざして

山野地域づくり協議会長

藤原 洋

皆様には、平素より山野地域づくり協議会の活動に温かいご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

近年、地震や豪雨などの自然災害が相次ぐ中、地域の「安全」と「備え」の重要性はますます高まっています。

今年度は、防災訓練や通学路の安全点検を実施し、防災意識の向上と見守り体制の充実を図ることで、誰もが安心して暮らせる地域づくりを進めてまいります。また、「集落の教科書」を活用

して山野の魅力を再発見し、地域への愛着や誇りを育む取り組みも進めます。

さらに、人と人とのつながりは、安心して暮らせる地域の大きな力です。サロン活動や「ふれあいひろば山野」、盆踊り大会やふれあい祭りなど、多彩な交流事業を予定しておりますので、移動サービス「やまのりくん」もぜひご活用いただき、お気軽にご参加ください。

これからの、皆様と力を合わせ、笑顔あふれる山野を目指してまいります。

一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。

一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。

一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。

フレイルチェックに参加して

山野長寿会高齢者学級長 高山 博文

山野長寿会高齢者学級では、6月3日、山野地域づくり協議会健康福祉部との共催によりフレイルチェックを実施し、23名が参加しました。山野地区では、南砺市地域包括医療ケア部の職員やボランティアスタッフの協力のもと、年2回実施しています。

フレイルチェックは、加齢に伴う体力や気力、社会とのつながりなどの衰え（フレイル）の状態を確認し、自分の健康状態を知るための取り組みです。当日は、片足立ちや口腔機能のチェックなどを楽しく行い、参加者は自身の健康状態を改めて確認しました。フレイルの兆候を早期に把握することで、運動や栄養、社会参加などの対策につなげることが出来ます。

参加者からは、「自分の健康状態を客観的に知ることができた。これからは年2回のチェックに継続して参加したい」との声が聞かれました。



いきいき健康サロン参加者募集

ボランティア委員長 川上 久志

『あなたの脳と身体は、まだまだ元気ですよ！』と脳と身体をはたらかせて、楽しい日々を送りましょう。』を目標として毎月、第1・第3金曜日に山野交流センターで「いきいき健康サロン」をおこなっています。参加者は70歳代から80歳代の方が多く、交流センターまで一人で来られない方は、「やまのりくん」を利用されています。内容は、脳トレとして間違えがしや簡単な計算、スクワットやかかと上げなど無理しない健康体操、また、外部から講師の方をお招きしての講話「栄養・口腔ケア」、楽しいゲームや音楽リズム体操、マスコットづくり、臨床美術など多彩なものとなっています。

「健康寿命」そして「幸せ寿命」を延ばし、人生を楽しく過ごすためにぜひ、参加してみてください。いつからでも、1回だけでも参加できます。特に男性の方お待ちしています!!

○原則として毎月第1・第3金曜日

午前9時30分～11時30分

○参加費 100円（お茶・お菓子代）



令和7年度 山野地域づくり協議会総会 全議案原案通り可決

4月25日（土）午後7時から山野交流センタースポーツ室で、令和7年度総会が、定数79名のうち委任状含め役員、総代59名が出席して行われ、議長に井波軸屋総代の稲垣貢さんが選任され議事が進められました。

藤原洋会長の挨拶の後、令和7年度事業報告・決算及び令和8年度事業計画（案）・予算（案）について審議が行われ、質疑応答の後、拍手多数により原案どおり承認されました。

最後に川原忠史市議会議員より来賓祝辞をいただき、総会は閉会しました。



世代を超えて盛り上がる！ 太鼓の達人大会

スポーツ委員長 越山 穂高

6月6日(土)に開催した「太鼓の達人大会」には、子どもから大人まで20名を超える皆さんにご参加いただきました。初めて挑戦する方から腕自慢の参加者まで、それぞれが真剣な表情で演奏し、次々と高得点が飛び出し、記録が何度も塗り替えられる白熱の展開に、会場は大きな歓声と笑顔に包まれました。順位を競うだけでなく、参加者同士が自然と声を掛け合い、世代を超えた交流が生まれたことも、この大会の大きな魅力だったと感じています。ご参加いただいた皆さまに心より感謝申し上げます。

次回は9月、さらに12月にも開催を予定しております。老若男女どなたでも楽しめる大会ですので、初心者の方も経験者の方もお気軽にご参加ください。多くの皆さまと一緒に、楽しく交流できる大会にしていきたいと思っています。



【1部】幼児から小2

- 1位 金戸かずは(飛騨屋)
- 2位 永山ふう子(坪野)
- 3位 高田 悠生(飛騨屋)

【2部】小3から小6

- 1位 宮林日々輝(岩屋)
- 2位 畑 遥碧(山斐)
- 3位 高田 侑依(飛騨屋)

【3部】中学生から大人

- 1位 清原 大智(山斐)
- 2位 金戸 彪流(飛騨屋)
- 3位 河原 卓也(安室)

移住体験ツアーについて

地域活性化部長 松川 毅

昨年3月にホームページで公開し、6月に製本して山野地区全戸へ配布した「集落の教科書」は、南砺市初の取り組みとして大きな反響を呼び、各種メディアでも紹介されるなど全国から注目を集めました。その反響を受け、5月30日(土)、なんと未来支援センターの移住体験ツアーが実施され、山形県から広島県まで全国各地の20代から60代まで7名が山野地区を訪れました。

当日は、山野地区の概要や10集落の特色、里芋やアルギットにらなどの特産品を紹介した後、山野保育園やふれあい広場、獅子の子落とし、農業法人や里芋・アルギットにらの圃場を視察していただきました。参加者からは「良い点も課題も率直に説明してもらえた」「地域での暮らしを具体的にイメージできた」と好評をいただきました。今後「集落の教科書」を活用し、山野地区への移住・定住の促進と地域活性化につなげていきます。



やまの再発見ウォーキング

教科書委員会委員長 高木 権一

「集落の教科書」には各集落(自治会)の史跡や見どころが紹介されていますが、長年そこに住んでいる人でも「知らなかった」ということが多いものです。そこで、自分の目で見て、聞いて、肌で感じられる「やまの再発見ウォーキング」を企画しました。

第一回目は坪野に5ヶ所あるお地蔵様巡りです。子供3名を含む合計14名が参加。3月20日春分の日、穏やかな春の日差しを浴びて交流センターを出発。今日は約5キロを歩くコース。普段はすぐ近くでも車で移動している者にとってはハードルの高い距離となっています。何気なく見ていた地蔵様には種類があり、それぞれに掛けられた想いも違うようです。ウォーキング中にお地蔵様をもう一体発見！まさに再発見がありました。

5キロの距離は全く気にならず戻ってきましたが、一番元気なのは6歳の子供でした。

次回は11月に岩屋地区を予定しています。ぜひ参加してください。



令和8年度 山野地域づくり協議会 各委員会委員

総務委員会

高山 博文(委員長)
齋藤 義宏 村岡 佳篤
堀 直毅 河原 秀樹
大浦 喜樹 澤田 聡樹
外山 大郎 高田かをる

広報委員会

高山 博文(委員長)
齋藤 義宏 村岡 佳篤
堀 直毅 河原 秀樹
往蔵 満秋 松川 毅
外山 大郎 松山 将也
山田奈々恵

防災委員会

波能 治男(委員長)
藪長 政昭 岩城美智恵
竹原 賢一 藪 晴美
吉田 平進 高山 貴之
松田 清 松川 晃人
堀 直毅 佐竹 弘昭
嶋 喜彦 大浦 喜樹
谷口 繁慶

安全委員会

岩城美智恵(委員長)
高山 実 武田 順治
長谷川英明 西村 一郎
稲垣 清人 岡野 高志
柴田 芳雄 齋藤 幸宏
村岡 豊彦 谷口 繁慶

ボランティア委員会

川上 久志(委員長)
磯邊 正博 高田かをる
川上 裕子 藤原 富子
前川 洋子 野原 明美
木村 久子 中嶋 和子
澤田眞理子 藤原 真美
山本 純子 松田裕美子
齋藤 仁美

ケアネット委員会

長谷川光徳(委員長)
藤原 真美(副委員長)
武田 順治 柴田 芳雄
岩崎 豊久 齋藤 幸宏
往蔵 満秋 堀 直毅
嶋 喜彦 河原 正明
森井 徹 大浦 喜樹
河原 秀樹 高山 光夫
松川 久 稲垣 俊広
村岡 洋子 川合 慶夫
西村 英一 野原 明美
岩崎 豊久 高田真由美
長谷川義晃 堀 律子
大浦 徹 村岡 里美
山田 義弘

ふれあい委員会

稲垣 俊広(委員長)
村岡 洋子(副委員長)
山田 義弘 森井 徹
長谷川英明 細川 謙一
飯田 洋人 飯田こずえ

文化委員会

榎木 勝規(委員長)
岩崎 修 崎田 栄信
齋藤 幸宏 長谷川 勲
齋藤るり子 澤田眞理子
長谷川英明 高山 照美
高田千恵子 松川 晃人
細川 謙一 嶋 智也
大浦 真 山田 孝高
嶋 千嘉

スポーツ委員会

越山 穂高(委員長)
梧桐 明朗 榎木 勝規
西村千佳子 齋藤 眞二
齊藤 昌弘 高山 真一
田中 幸 柴田三希子
柴田 将吾 前川 恵弓
大矢 英明 長谷川雅弘
松原 数喜 小林 憲司
西村 卓朗 崎田 健史
上田 光徳 金戸 孝之
村岡 裕一 野村 昌浩
新里 史朗 永井 龍大
林 千夏 新里 宏美

子育て委員会

大浦 峻(委員長)
松山 将也 飯田 洋人
長谷 温友 山田 孝高
新里 史朗 高田 拓
山田奈々恵 松山友香里
飯田こずえ 山下 三世
新里 宏美 嶋 千嘉
佐竹 舞

令和8年度役員紹介 (3月以降決定分)

山野青年会

会 長	齋藤 朋史 (飛)
副会長・広報委員	外山 大郎 (坪)
地域活性化委員	中嶋 徹 (岩)
盆踊り実行委員	大浦 真 (専)
文化祭実行委員	嶋 智也 (清)
役 員	高田 拓 (高)

山野児童クラブ育成連合会

会 長	大浦 峻 (専)
副会長・広報委員	松山 将也 (坪)
〃(母親クラブ会長)	山田奈々恵 (飛)
庶 務	長谷 温友 (岩)
会 計	松山友香里 (坪)
監事・ふれあい委員	飯田 洋人 (山)
〃	飯田こずえ (山)
文化委員	山田 孝高 (飛)
〃	嶋 千嘉 (清)
スポーツ委員	新里 史朗 (安)
〃	新里 宏美 (安)
活性化委員	高田 拓 (高)
〃	佐竹 舞 (専)
井波地区連合理事	新里 史朗 (安)
〃	山下 三世 (岩)
クリスマス会	長谷 温友 (岩)
〃	松山友香里 (坪)

わいわい 健康スポーツDay (わいスポ) 開催中

文化スポーツ子育て部長

河原 秀樹

子どもたちがスポーツに親しみ、心も体も気持ちよく汗を流せる場として、今年度も「わいスポ」を開催しています。

山野交流センター2階スポーツ室を、毎月第2・第4土曜日の午前10時から正午まで開放しています。ボール遊びや軽スポーツなど、自由に体を動かして楽しめます。ぜひ、お気軽にご利用ください。



環境美化運動

花苗の植え付け・

農村公園草刈

地域指導員 齊藤 仁美

6月8日朝7時から、山野交流センター前花壇とプラントナーに、グリーンキーパーの方々、ボランティアの皆さんのご協力を得て、花苗の植え付けを行いました。今年は花ばかりでなく、新たにすつきりと立つ葉鶏頭も植えてみました。花々もとても可愛らしく咲いていて、心が和みます。

参加者の皆さんが手際よく丁寧に作業して下さり、1時間ほどで完了しました。後日、村岡豊彦さんが花壇に散水ホースを設置して下さり、端の花まで万遍なく水が行き渡って水やり作業の負担も軽く、花達も元気に咲き誇っています。

花壇の整備にご尽力頂きましたすべての皆様、ありがとうございます。

また、6月5日朝7時から、山野農村公園において、山野地域づくり協議会役員による草刈りと樹木の剪定作業を行いました。園内では、藤棚の蔓が大きく伸び、草もかなり繁茂していましたが、役員が協力して作業を進めた結果、約1時間半で見違えるほど美しく整備されました。

地域の皆さんが気持ちよく利用できる公園となりました。ご協力いただいた役員の皆さん、ありがとうございました。

山野地域づくり協議会1年の歩み

区分	令和7年度事業報告	令和8年度事業計画
総会	4月26日開催(山野交流センター2階スポーツ室)。 令和6年度総会を実施し、全議案賛成多数で原案可決。	4月25日開催。第7回通常総会を実施し、全議案賛成多数で原案可決。
地域活性化部	・里芋植付・収穫・販売(いもっこ倶楽部)	・里芋植付・収穫・販売(いもっこ倶楽部)
	・里芋掘り取り体験会(10月・628名参加)	・里芋掘り取り体験会(10月)
	・ふれあい広場「産直の店」リニューアル(4～12月)	・ふれあい広場やまの「産直の店」(4月～12月)
	・保育園児とのサツマイモ・イチゴ収穫体験	・保育園児とのサツマイモ・イチゴ収穫体験
	・井波中学校総合的学習里芋研修・収穫体験(8・10月)	・井波小学校里芋植え付け体験(5月)
	・住民主体の移動サービス「やまのりくん」	・住民主体の移動サービス「やまのりくん」継続
	・集落の教科書全戸配布(6月)	・集落の教科書ホームページデータ更新(3月)
	・やまの再発見ウォーキング(3月)	・やまの再発見ウォーキング(11月)
	・だれでも・なんでもサロン(毎週火曜・48回)	・だれでも・なんでもサロン(毎週火曜・45回)
		・空き家対策事業
健康福祉部	・ケアネット委員会・研修(6・10・1月)	・ケアネット委員会・視察・研修(6・10・1月)
	・ふれあい祭り(10月・敬老会)	・ふれあい祭り(10月・敬老会)
	・米寿表彰・敬老饅頭配布(10月)	・米寿表彰・敬老饅頭配布(10月)
	・フレイルチェック(6・2月)	・フレイルチェック(6・2月)
	・三世代交流もちつき(12月)	・三世代交流もちつき(12月)
	・3無い健康マージャン大会(7・12・3月)	・3無い健康マージャン大会(7・12・2月)
	・ほのぼのの家(2月)	・ほのぼのの家(2月)
	・とやま健康パーク南砺市の日(11月)	・とやま健康パーク南砺市の日(11月)
	・サロン「いきいき健康教室」(毎月第1・3金曜・24回)	・サロン「いきいき健康教室」(毎月第1・3金曜・24回)
	・地域でまるごと健康教室フォローアップ(6月)	・ごみ出し支援
文化スポーツ 子育て部		・じょうぐち除雪支援
	・パークゴルフ大会(7月)	・パークゴルフ大会(7月)
	・立山登山(8月)	・立山登山(8月)
	・盆踊り大会(8月)	・盆踊り大会(8月)
	・チャレンジスポーツやまの(9月)	・チャレンジスポーツやまの(9月)
	・ふれあい祭り(10月・文化祭)	・ふれあい祭り(10月・文化祭)
	・e-スポーツ 太鼓の達人大会(8・9・10・12月)	・e-スポーツ 太鼓の達人大会(6・9・12月)
	・エンジョイビーチボール大会(3月中止)	・エンジョイビーチボール大会(11月)
	・わいわい健康スポーツDay(毎月第2・4土曜)	・わいわい健康スポーツDay(毎月第2・4土曜午前)
		・菖蒲まつりあんどん出品(6月)
防災安全部		・ラジオ体操(8月)
		・クリスマス会(12月)
	・防災安全部会出前講座(6月)	・山野地区安全点検(7月)
	・初期消火訓練(8月雨のため中止)	・初期消火訓練(8月)
	・交通安全マスコット配布(10月)	・交通安全マスコット配布(10～11月)
	・ふれあい祭り(10月・AED訓練・防災機器展示・防災カレー)	・ふれあい祭り(10月・防災訓練・防災機器展示・防災カレー)
総務部		・安否確認訓練
		・南砺市総合防災訓練(10月・井波地域会場)
	・「広報やまの」年3回発行(7・12・3月)	・「広報やまの」年3回発行(7・12・3月)
	・戦没者慰霊祭(8月)	・戦没者慰霊祭(8月)
	・結ネット出前説明会(2自治会)	・結ネット出前説明会(随時)
	・花壇整備・球根植え(6・11月)	・花壇整備・球根植え(6・11月)
	・交流センター内外環境美化(8・12月)	・交流センター内外環境美化(8・12月)
	・農村公園・慰霊碑前・保育園園庭草刈(8月)	・農村公園・慰霊碑前・保育園園庭草刈(8月)
	・環境美化活動	・環境美化活動
その他	・道路維持サポート事業	・道路維持サポート事業
	井波地域・南砺市地域づくり協議会連合会・生涯学習連絡協議会・事務局長情報交換会・地域づくりセミナー等へ参加。各部・各委員会会議を開催。	

令和7年度決算・令和8年度予算比較表

(単位:円)

収 入 の 部				
項 目	令和7年度 決算報告	令和8年度 予算	増 減	摘 要
繰越金	3,879,539	3,266,550	-612,989	令和6年度繰越金／令和7年度繰越金
南砺市交付金・補助金	10,006,433	9,548,000	-458,433	住民自治推進交付金、地域防災力向上支援事業補助金
富山県補助金	250,000	100,000	-150,000	県中山間地支援事業(集落の教科書分)
南砺市社会福祉協議会	1,035,000	905,000	-130,000	地区福祉活動助成金、ケアネット助成金、サロン助成金
会費	1,320,800	1,320,800	0	508世帯×2,600円
招魂社維持費、更生保護募金	86,360	86,360	0	508世帯×170円
雑収入	559,030	339,487	-219,543	コピー代、施設維持協力費、借地料、貯金利息等
事業収入	211,750	230,000	18,250	盆踊り大会、ふれあい祭りバザー
会費(事業)	221,000	220,000	-1,000	立山登山、健康マージャン、慰霊祭等
寄付金	0	191,854	191,854	女性防火クラブ寄付金
公租公課	121,949	121,949	0	第1～第4機械管理組合固定資産税
合計	17,691,861	16,330,000	-1,361,861	

(単位:円)

支 出 の 部				
項 目	令和7年度 決算報告	令和8年度 予算	増 減	摘 要
会議費・役務費・需用費	493,186	752,000	258,814	総会、役員会、各種会議、保険料、固定資産税等
文化スポーツ交流部→ 子育て部	957,629	1,170,000	212,371	盆踊り大会、ふれあい祭り、立山登山、e-スポーツ大会、子育て事業等
地域活性化部	1,173,995	830,000	-343,995	特産委員会活動、やまのりくん、だれでも・なんでもサロン、集落の教科書等
健康福祉部	619,738	934,000	314,262	敬老会、ほのぼのの家、ケアネット活動、健康づくり、ごみ出し・じょうぐち除雪支援事業等
防災安全部	821,779	497,000	-324,779	防災訓練、交通安全マスコット、防災備品(AED・発電機等)、防災活動費
総務部	648,900	880,000	231,100	広報誌、戦没者慰霊祭、地域内道路等維持サポート事業、結いネット等
委託費・地域づくり助成	1,240,480	1,165,000	-75,480	自治会、各種団体(山野分団含む)へ助成
通信費・光熱費	1,100,559	1,200,000	99,441	電話料、受信料、ガス、電気、水道、灯油
備品費・管理費	1,467,882	700,000	-767,882	ノートパソコン、会議室エアコン、ワイヤレスチューナ、事務備品、コピー機レンタル、消防設備点検
負担金・研修費	619,808	420,000	-199,808	各部各種負担金、会費等
推進人件費	4,922,466	4,961,227	38,761	職員給与、役職手当
修繕費・諸雑費	358,889	1,020,000	661,111	駐車場区画線、外灯修繕、トイレ修繕、和室・事務室LED工事、洗剤・消臭剤・ごみ袋・電球等
慶弔費	0	20,000	20,000	
予備費	0	1,780,773	1,780,773	
繰越金	3,266,550	0	-3,266,550	7年度繰越金
合計	17,691,861	16,330,000	-1,361,861	

赤字は7年度のみ、青字は8年度

● 里芋植付体験から 未来につなぐ ●

地域活性化部長 松川 毅

山野特産の里芋の作付面積拡大と担い手育成を目指し、「里芋で元気なまちづくり」を掲げて発足した「やまのいもっこ倶楽部」は、今年で7年目を迎えました。より多くの方に山野産里芋のおいしさを知っていただきたいという思いで始めたこの活動は、年を重ねるごとに多くの皆様からご支援、ご協力をいただけるようになりました。

今年5月3日に「里芋植付体験会」を開催し、24名の方にご参加いただきました。参加者からは、「山野特産里芋のおいしさをもっと多くの人に知ってほしい。そのために栽培作業や苦勞も知りたい」「山野の里芋はどこよりもおいしい」「作付面積が減少し将来が心配と聞き、少しでも協力したい」など、励ましの声を数多くいただきました。これから収穫に向けた作



業が本格化しますが、5年目となる「里芋掘り取り体験会」を10月17日(土)から25日(日)までの9日間開催します。山野産里芋のおいしさを求めて、リピーターや口コミ、SNSなどを通じ、昨年は地元や県内はもちろん県外からも約800名の皆様にご来場いただきました。

また今年は、新たに井波小学校5年生53名全員が、学校菜園に加え農家の圃場でも植付から収穫までを体験し、「山野産里芋の栽培を学び、おいしさの理由を知り、未来へつなげる」活動がスタートしました。さらに、山野保育園の園児たちとは、今年も「さつまいも」の植付から収穫までの活動を実践しています。年末には保育園主催の「感謝の集い」も続けていただいています。

地域の学校や保育園との活動を通じて、次世代を担う子どもたちに山野の農業の魅力を伝え、担い手育成と作付面積の拡大、そして地域の活性化につな



げたいとの思いで取り組んでいます。

今後も、多くの地区の皆様のご参加、ご協力、ご支援をよりしくお願いいたします。



編集後記

(交流センターからのお知らせ)

4月4日の強風では、県内各地で大きな被害が発生しました。南砺消防署東分署では最大瞬間風速46・3メートルを記録し、山野地区でも屋根瓦の飛散や外壁・シャッターの破損、屋敷林の倒木など、多くの被害が見られました。被害に遭われた皆様に、心よりお見舞い申し上げます。

山野交流センターでも掲示板や2階スポーツ室のガラスが破損し、安全確保のため修理が完了した4月15日までスポーツ室の利用を中止しました。ご利用の皆様にはご不便、ご迷惑をおかけしましたことをお詫び申し上げます。なお、掲示板は修理費用や利用状況を踏まえ、撤去することといたしました。

また、交流センターをより快適にご利用いただけるよう、玄関戸に自動で閉まるダンパーを設置したほか、今年度は和室の照明をLED化し、明るく利用しやすい環境を整えました。今後も地域の皆様に安心してご利用いただける交流センターを目指し、施設の維持・改善に努めてまいります。

なお、今回は各種委員名簿や山野地域づくり協議会の予算・決算、事業報告・事業計画の掲載に紙面を多く充てたため、「山野の魅力」はお休みとさせていただきます。次号より再開しますので、ご理解いただきますようお願いいたします。

(広報委員会)